

ウイルス性食中毒の動向と胃腸炎ウイルス研究のトピックス 2025

北里大学大村智記念研究所ウイルス感染制御学研究室
/感染制御科学府ウイルス学教室 教授 片山和彦

ヒトに感染するノロウイルス（Human Norovirus、HuNoV）は世界中に広く分布し、HuNoV による集団食中毒事件数はトップクラスであった。しかし、2020 年から始まった SARS-CoV-2 のパンデミックにより、人流のコントロール、3 密の回避、マスク着用、手指消毒の習慣が広く行き渡り、SARS-CoV-2 などの呼吸器感染性ウイルスだけでなく胃腸炎ウイルスの感染者数も激減した。その後、2023 年 5 月に SARS-CoV-2 が 5 類感染症に移行して以降、人々の SARS-CoV-2 感染症に対する緊張感が薄れ、生活環境は SARS-CoV-2 パンデミック以前に戻りつつある。

2022/23 シーズンから徐々に、HuNoV 感染症患者数は増加傾向にあり、さらにヒトに感染するサポウイルス（HuSaV）の流行も目立つようになってきている。

本講演では、胃腸炎ウイルス（HuNoV, HuSaV, アストロウイルスなど）の疫学に関する最新情報を提供するとともに、胃腸炎ウイルス研究のトピックスを紹介しつつ、今後の胃腸炎ウイルスの感染制御について概説する。